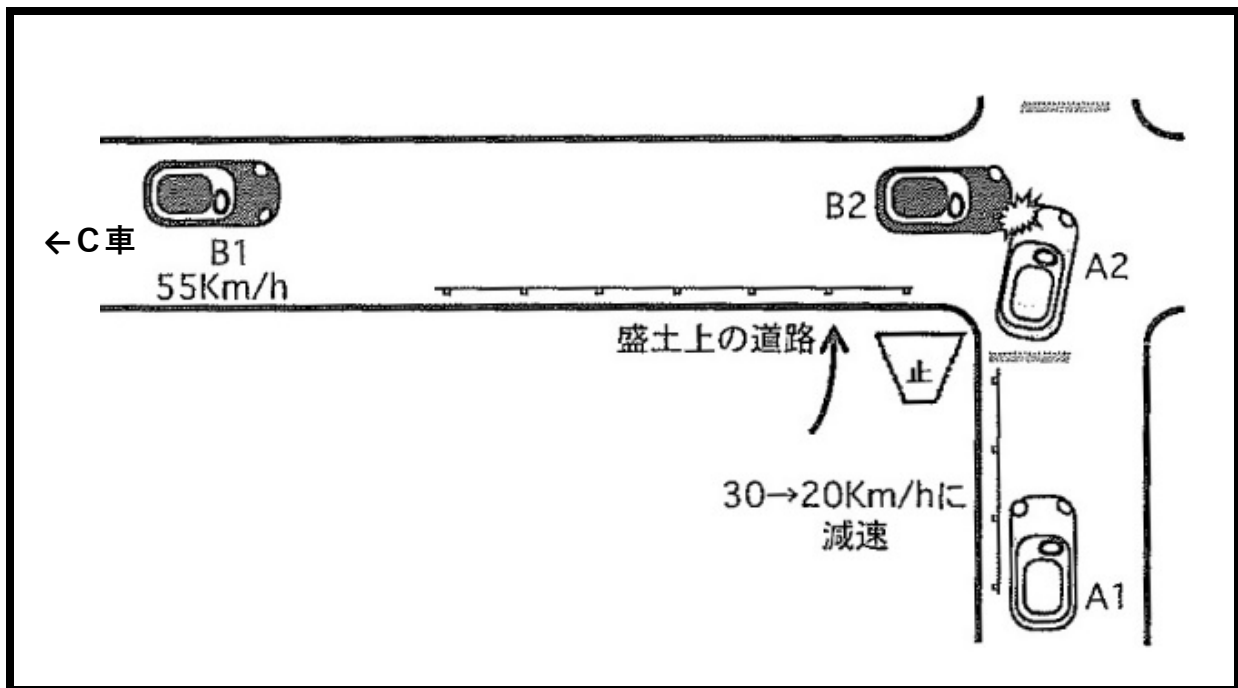


## ■事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：6月 午後2時頃

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

当事者B：普通乗用車 20歳代 男性

## ■ 事故の概要

Aは毎日通行する交差点に向かって時速約30kmで走行中、交差点手前で減速し、左右の安全を確認すると左方遠方に車両C車を発見しました。しかし、交差道路は盛土上にあり、ガードレールや雑草により見通しが悪いこともあり、手前を走行中のB車を見落としていました。そのため、いつものように一時停止をせず交差点に加速進入し、危険認知のないままB車と衝突しました。

一方Bは、自転車側が優先道路であるという意識と、閑散とした環境のため、交差車両に対する警戒心は全くなく時速約55kmで走行。前方約15mにA車を発見したときに急ブレーキを掛けたが間に合わず衝突してしまいました。

## ■ 事故から学ぶ

Aがもし一時停止標識でちゃんと停止し安全を確認していたら確実に避けられた事例です。

AもBも、閑散とした環境のもと、他車が一台もいるはずがないと思い込んでしまい、まさか二台もの車両がいるとは予想できなかったと考えられます。いつも走行している道路でも先入観を捨て、十分に安全を確認すべきでした。一時停止標識で停止することはもちろんですが、交差点を走行する際には、他の車両状況の確認し、安全運転をこころがけましょう。